

連携シート作成に伴う各委員からのご意見および構成案

意見(連携シートに盛り込むべき内容等)
・自分の言葉で表現でき、共有できるものが生き活きたものになる。
・お薬手帳が情報共有ツールとして普及している。
・記入事項が多いと定着できない。
・小さなシール等で、情報をお薬手帳に貼るだけの簡単なもので良い。面倒でないことがなが続きのコツ。
・個人情報の管理が重要。
・医療と介護の情報をすべて盛り込んだ在宅療養手帳を使っている自治体もある。
・本人が、どういう医療・介護を受けたい、望む生活といった希望欄があるとご家族が助かる。
・コミュニケーション等対応の仕方が書かれているとわかりやすい。
・お薬手帳の最初のページにプロフィール欄があるが、あまり活用されていない。
・ケアマネや利用サービスが記入されているとつなぎやすい。
・薬の情報はほしい。歯科や接骨院も巻き込み共有できるとよい。
・必要な情報を追加していける方式もよい



全体のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ・よりわかりやすく、ご家族の方も利用しやすいもの ・一定程度市場に流通しているものを活用する ・管理は、本人、ご家族を基本とする
---------	--

検討項目	内容
形式	<p>事務局案:別紙見本参照 お薬手帳と同サイズとし、お薬手帳に貼る、挟み込む、カバー等の活用によりセットで携帯できるものとする。 窓口での配付の他、区のホームページ等からのダウンロードにより手軽に使い始めることが可能である。</p>
	意見
最低限必要な記載情報	<p>事務局案:別紙見本参照 あくまで連携のベースになるものと考え、同意書、プロフィール、連携機関の情報のみに留めている。ひとりひとり求める情報、伝えたい情報は、異なるため、伝え方は、個人や連携機関の工夫にて発展させていただきたい。(連絡メモ、希望シート、体調チェックシート等挟み込めるもの)</p>
	意見
利用ルール	<p>事務局案: ① 本シートの使用にあたっては、その用途を本人・ご家族に説明し、了解の範囲で活用を図ること。 ② 本シートの管理及び連携の中心は、本人・ご家族とし、情報の共有は、本人・ご家族を介して、もしくは同意のもと行われるものとする。 (医医・医介・介介連絡の際は特に留意) ③ 伝える内容、伝え方については、本人・ご家族、連携機関に委ねるが、筆記での回答を強要するような連絡は避ける。 ④ 情報交換にあたっては、個人情報に留意し、特にFax送信、コピー等の作成においては、氏名等を伏せる等、細心の配慮を行う。</p>
	意見